

(様式例 2)

大阪市立榎本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学力の向上】 ① 本年度の学習理解度到達診断(しんだんテスト)の正答率8割以上の児童の割合を、全学年で昨年より向上させる。(カリキュラム改革関連) ② 本年度の「学校アンケート」で、「授業がわかる」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童の割合を、低…75%、高…70%以上にする。(カリキュラム改革関連) ③ 「26年度授業アンケート」で、「お子さんは、授業の内容がわかるようになっていきますか」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する保護者の割合を、全学年で65%以上にする。(マネジメント改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【習熟度別少人数授業の実施】 国語・算数の習熟度別クラス編成時にレディネステストや児童アンケートを実施し、適正なクラス編成をするとともに、教材の開発を行う。(カリキュラム改革関連)	
指標 単元ごとにレディネステストやアンケートをもとにクラス編成を行う。	
取組内容②【言語力や論理的思考能力の育成】 読解、記述、コミュニケーションなど、多様な言語活動を、各教科において実施する。(カリキュラム改革関連)	
指標 言語活動の取り組みを、全ての学年で計画的に行う。	
取組内容③【家庭・地域・外部諸団体との連携推進】 学級文庫および習熟教材を充実させ、家庭・地域・外部諸団体との連携のもと、読書習慣の定着や各教科学習の理解を進める。(カリキュラム・サポート改革関連)	
指標 PTAや地域・各種団体・学生などのボランティアに多く参画してもらう。	
取組内容④【研究授業を伴う校内研修の充実】 全学年・ひまわり・ひかりの会で研究授業を実施するとともに、各種研修会を行い、授業力・対応力の向上を図る。(マネジメント改革関連)	
指標 年間7回以上の研究授業	
取組内容⑤【研究授業を行う若手教員の育成】 全教職員総がかりで、若手教員の育成に取り組む。(マネジメント改革関連)	
指標 全若手教員が研究(公開)授業を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

大阪市立榎本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

年度目標	達成状況
【道徳心・社会性の育成】 ① 本年度の「学校アンケート」の「友だちとなかよくできている」「私にはいいところがある」等の項目について、「よくあてはまる」と回答する児童の割合を、昨年度より5ポイント以上増加させる。(カリキュラム改革・サポート改革) ② 本年度の本校の「いじめアンケート」の「仲間はずれにされる」「嫌なことをいわれる」の項目について、「0」を目指す。(カリキュラム改革・サポート改革) ③ 生活指導上の対応件数を、「毎日3件程度」に減らすとともに、保健室対応件数を、「毎日20件程度」に減らす。(カリキュラム改革・サポート改革) ④ 児童・保護者・地域が「えのもとの森」を通して、東北地方(陸前高田)と絆を深めることにより、社会貢献の精神(命を思う心情)を育成する。 (カリキュラム改革・サポート改革)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【道徳教育の推進】 児童会を中心に「あいさつ運動」を実施し、あいさつができるようにするとともに、きまりを守るための強調週間を設ける。(カリキュラム・サポート改革) 指標 「あいさつ運動」や強調週間を、チェックカードをもとに振り返る。	
取組内容②【保護者・地域との連携】 「えのもとの森プロジェクトチーム」による「えの森から発信する、心・校内オアシス化計画」を立ち上げ、活動を展開する。(カリキュラム・サポート改革) 指標 月に1回、「プロジェクトチーム」を開き、PDCAサイクルで計画を進める。	
取組内容③【特別活動】 「縦割り班」や「分団班」編成により、異学年交流を深める。 (カリキュラム・サポート改革) 指標 月に1回、縦割り班活動を実施するとともに、毎日の分団活動を充実する。	
取組内容④【防災教育の推進】 「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。 (カリキュラム・サポート改革) 指標 通常の避難訓練と保護者・地域・近隣学校園との合同避難訓練を実施する。	
取組内容⑤【いじめへの対応】 校内体制を中心に、全教職員で共通理解を図り、対策を講じる。 (カリキュラム・サポート改革) 指標 「いじめアンケート」を学期に1回実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

大阪市立榎本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した

B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった

D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【健康・体力の保持増進】</p> <p>①本年度の新体力テストの数値の伸び率を高めるために、体育科の授業研究会を全学年が計画的に行う。(カリキュラム改革)</p> <p>②「健康生活習慣」などをとおして、健康な生活習慣が身につくようにする。 (カリキュラム改革)</p> <p>③食事の大切さを知り、自分の健康を考えて食事ができるように、栄養指導を計画的に行う。 (カリキュラム・サポート改革)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【体力づくりのための活動の開発】</p> <p>いろいろな外遊びの指導やなわとび・かけ足週間を活用し、体力向上への意識を高める。 (カリキュラム・サポート改革)</p> <hr/> <p>指標 いろいろな遊び方を指導し、日常的に体力が高まるようにする。</p>	
<p>取組内容②【体育科授業の充実】</p> <p>体育科の授業を計画的に行い、授業の充実を図る。 (カリキュラム改革)</p> <hr/> <p>指標 全学年が年間計画に基づいて研究授業を行う。</p>	
<p>取組内容③【健康な生活習慣の確立 1】</p> <p>健康な生活習慣が身につくように、家庭と連携して指導する。 (カリキュラム・サポート改革)</p> <hr/> <p>指標 チェックカードや振り返りカードを活用する。</p>	
<p>取組内容④【健康な生活習慣の確立 2】</p> <p>食事の大切さについて、「給食・栄養だより」等で、児童・保護者に啓発を図る。 (カリキュラム・サポート改革)</p> <hr/> <p>指標 「給食・栄養だより」を月1回、発行する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立榎本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【教職員の資質向上】 ① 本年度の「学校アンケート」の「授業がわかる」の項目について、「よくあてはまる」が、昨年度より上回るようにする。（カリキュラム改革） ② 本年度の「授業アンケート」で、「お子さまは、授業の内容がわかるようになっていますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で50%以上にする。（マネジメント改革） ③ 毎日の生活指導上の対応件数が、昨年度より減るようにする。（マネジメント・サポート改革） ④ 本年度の「授業アンケート」で、「学校は楽しいですか」の項目について、「そう思う」と回答する児童の割合を、70%以上にする。（マネジメント改革）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【コンプライアンスの意識を高める】 教育公務員としてのあるべき姿を常に意識し、各自が日々資質の向上を目指す。（マネジメント改革） 指標 月1回、互いに点検し合う体制を確立する。	
取組内容②【“体罰絶対悪”の意識を深める】 全教職員が、児童・保護者に寄り添い、自尊感情を高める資質を身につける。（マネジメント改革） 指標 月1回、互いに点検し合う体制を確立する。	
取組内容③【「教職員としての生き抜く力」を体現する】 全教職員が、日々の課題に挑戦し、乗り越えていく「教職員としての生き抜く力」を身につける。（マネジメント改革） 指標 月1回、各自が自己点検する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	